

キャラクター名
DX版辰澤

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	不良高校生	カヴァー	高校生
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	渴望	衝動	闘争	初期侵食率	33 %	
出自	有名人(父親or母親)	経験	「初恋(思い人)」	邂逅	自身(敷島あやめ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	2	1	0			3	行動値	14
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	14
精神	2	0	3	3		8	戦闘移動	19
社会	1	0	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 情報屋	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
天花寺麗(てんげいじうら)	P 慈愛	N 憤懣			
PC2 春日崎さん	P 感服	N 憐憫			
初恋(今田君)Sロイス	P 誠意	N 悔悟			
	P 憧憬	N 恥辱			
	P 慕情	N 嫉妬			
きよ君	P 好奇心	N 脅威			
	P 同情	N 劣等感			

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	対決	100↑	
効果: 攻+[LV*5]								
光の弓	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻:+[LV+2]、射攻、至近不可								
ピンポイントレーザー	4	2	メジャー(シンドローム)	-	-	対決	-	
効果: 攻-[5-L],装甲無視								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー(シンドローム)	-	-	-	-	
効果: C値-LV(下限値7)								
オプティカルレンズ	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: エンハイを含む攻撃に+5								
温度調節	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: レンジでチン的な!								
氷の理	1	-	メジャー	至近	色々	自動	-	
効果: 冷やすよ!								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

編み込みカチューシャで後ろを下ろした髪型。服は制服(黒セーラー)か、辰澤の黒版に寒い時はダブル。
 欲しいと思った。なりたいたいと思った。どんな犠牲を払っても、どんな風になっても。
 バスケットの女神にだけ、愛されるのならそれでよかった。誰にも負けない、強烈なまでの才能に、強者に屈する事のない「力」が欲しかった。
 結果として、競技として一般人に交じってバスケットをする事は出来なくなった。
 自分が望んだ結果だし、まあ仕方ない。趣味としてとどめようとは思ってる。(納得できてるかは微妙)
 その代り、その分野(つまりエンサラ)で最強(最恐でも最凶でも可)になると日夜躍起になっている。
 衝動としてそれが現れた時、「強者と戦いたい、という感情が残っていない。

父親が裏社会と言ったらアレだけど、そっちに名が通る人物で、自分もそう言う系の(不良)とかとの関係のが多い。からガラが悪い奴に慣れてる。
 物を適温にしたりするのが得意だから気に入った人には進んでやる。弱い人に興味はないよ!
 でも気に入るとくっつくし、くっつく時に冷やしたりして悪戯もしちゃう

炎氷と光を龍のように操る戦闘手段や、普段の天真爛漫な感情豊かな様子とは正反対の仕事への異常な完遂能力を持つイリーガル。
 そのスタイルを見たある人が、本人の名前を振り「氷の心(どんな相手だろうと動じない)を纏う龍〜クリスタル・ゼロ(情など欠片もない)〜、と名付けた。
 事実その通りであり、仕事の時のすべての想いはパーカーフェイスの裏に沈め、本人も表に出ている顔と同じ感情のつもり。

誰かが自分の目の前で傷つくとのが嫌だ、自分が死ぬのが嫌だけど他の人が、気に入っている人が死んでしまうのはもっと嫌だ。
 誰かが守らなければいけない、それが成し遂げなければならぬ仕事であるのなら、自分が、
 どんな気持ちも心の中で渦巻いていようと、それは仮面の裏に隠し、そ知らぬ笑顔で(将又無表情で)彼女は仕事を遂行する。